

安全データシート

ページ: 1/12

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 11. 12. 2017

製品: Ripro LC / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

1. 製品及び会社情報

Ripro LC リプロ液剤

用途: 農薬製品, 除草剤

会社名:

BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL 日本橋ビル 3階
電話番号: +81-3-5290-3000
FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】:

急性毒性: 区分 4 (吸入-蒸気)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分 2A
水生環境有害性(急性): 区分 2

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:
警告

危険有害性情報:

H319 強い眼刺激。
H332 吸入すると有害。
H401 水生生物に毒性。

注意書き（安全対策）:

P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。
P260 ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P264 取扱後は汚染された部位をよく洗うこと。

注意書き（応急措置）:

P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P337 + P311 眼の刺激が続く場合：医師に連絡すること。

注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

他の危険有害性:

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

単一製品・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 除草剤, 溶解濃縮物 (SL)

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 11. 12. 2017
製品: Ripro LG / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

内容物: グリホサート (イソプロピルアミン塩), イマザピル

危険有害成分

N- (ホスホノメチル) -グリシン

含有量 (W/W): 21.9 %

CAS番号: 1071-83-6

化審法番号: (2)-3067

眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分 1

水生環境有害性(急性): 区分 2

イマザピル

含有量 (W/W): 8.3 %

CAS番号: 81334-34-1

眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分 2A

水生環境有害性(急性): 区分 3

ポリエトキシ化牛脂アミン

含有量 (W/W): < 10 %

CAS番号: 61791-26-2

急性毒性: 区分 4 (経口)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分 1

水生環境有害性(急性): 区分 2

水生環境有害性(長期間): 区分 2

プロパン-1, 2-ジオール

含有量 (W/W): < 5 %

CAS番号: 57-55-6

化審法番号: (2)-234

労働安全衛生法: (2)-234

化学式: C13 H15 N3 O3; C3 H8 N O5 P

4. 応急措置

[一般的なアドバイス]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 11. 12. 2017
製品: Ripro LG / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 最も重要な症状や影響はラベル (第2章を参照) や第11章に記載されている。、その他の重要な症状や影響は今のところ知られていない。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 粉末, 二酸化炭素, 泡

[特有の危険有害性]:

一酸化炭素, 二酸化炭素, 窒素酸化物, リン化合物

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火を行う者の保護具]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:

火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項]:

蒸気／スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:

土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する (例: 砂、おが屑、珪藻土)。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。適切な保護装置をつけること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。作業後に手洗い、洗眼をする。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 11. 12. 2017
製品: Ripro LG / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

安全取扱注意事項:
注意事項は特になし。不燃性である。爆発性なし。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。
保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性:
保管期間: 24 月

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

職業暴露限度は、不明である。

【保護具】

[呼吸用保護具]:
高濃度に対して、または長時間有効な適切な呼吸保護具: 複合フィルターEN14387タイプABEK (有機、無機、酸性無機及びアルカリ性化合物のガス/蒸気)

[手の保護具]:
長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN 374) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN 374によると、透過時間は480分以上であること): ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロブレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:
サイドシールド (フレームゴーグル) (EN 166準拠) 付き安全眼鏡

[皮膚及び身体の保護具]:
作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。)

[一般的な安全及び衛生対策]:
最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	淡黄色
臭い:	特異臭
臭いのしきい値:	吸入による有害性のため、決められていない。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 11. 12. 2017
製品: Ripro LG / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

pH:	約 5 - 8 (約 20 ° C)
凝固点:	約 0 ° C (1, 013. 3 hPa)
沸点:	情報は溶媒に適用される 約 100 ° C 情報は溶媒に適用される
引火点:	> 95 ° C
蒸発率:	適用せず
燃焼性 (固体/ガス): 爆発範囲の下限:	適用せず この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
爆発範囲の上限:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
発火温度:	決められていない。
熱分解:	通常の手扱い条件下で危険分解物なし。
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。
火災を引き起こす性質:	構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。
蒸気圧:	約 23. 3 hPa (約 20 ° C) 情報は溶媒に適用される
密度:	約 1. 11 - 1. 13 g/cm ³ (約 20 ° C)
相対蒸気密度 (空気):	適用せず
水に対する溶解性:	可溶

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 11. 12. 2017
製品: Ripro LG / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

記載物質に関する情報: N- (ホスホノメチル) - グリシン
n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow): < -3.2
(20 ° C; pH: 2 - 5)

粘度: 約 0.022 Pa. s
(25 ° C)

その他の情報:
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:
還元剤, 強酸化剤, 強塩基, 強酸

[危険有害な分解生成物]:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:
通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:
単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。短期間の吸入により中程度の毒性。

実験または計算によるデータ:
LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 5,000 mg/kg (OECDテストガイドライン401)

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): 4.67 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)
エアゾールで試験した。

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 4,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)
死亡なし

刺激性

刺激性作用の評価:

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 11. 12. 2017
製品: Ripro LG / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

皮膚刺激性なし。眼に入ると、刺激する。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ウサギ: (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ウサギ: 刺激性あり。 (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:

Closed-patch Test モルモット: (OECDテストガイドライン406)

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。各種の動物実験の結果は、発癌効果の兆候を示さなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性、単回ばく露:

単回暴露評価:

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

反復投与毒性と特定標的臓器毒性、反復ばく露

反復投与毒性の評価:

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 11. 12. 2017
製品: Ripro LG / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。

吸引性呼吸器有害性

予測される吸入危険性はない。
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

環境毒性

水生生物に対する毒性の評価:
水生生物に毒性。

魚類に対する毒性:
LC50 (半数致死濃度) (96 h) 37.89 mg/l, ゼブラフィッシュ (学名: *Brachydanio rerio*) (OECDテストガイドライン203、ISO 7346、84/449/EEC, C.)

水生無脊椎動物:
EC50 (48 h) 21.1 mg/l, ミジンコ属

水生植物:
EC50 (72 h) 5.53 mg/l, 緑藻 (学名: *Selenastrum capricornutum*)

無影響濃度 (72 h) < 3.13 mg/l, 緑藻 (学名: *Selenastrum capricornutum*)

記載物質に関する情報: N- (ホスホノメチル) -グリシン
水生植物:
EC50 (72 h) 18 mg/l (成長率), スケルトネマ (学名: *Skeletonema costatum*)

無影響濃度 (72 h) 1.82 mg/l, スケルトネマ (学名: *Skeletonema costatum*)

記載物質に関する情報: N- (ホスホノメチル) -グリシン
魚類に対する慢性毒性:
無影響濃度 (168 h) 5.6 mg/l, ゼブラフィッシュ (学名: *Brachydanio rerio*)

移動性

環境区分間の輸送評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: N- (ホスホノメチル) -グリシン
環境区分間の輸送評価:
土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

記載物質に関する情報: Imazapyr technical
環境区分間の輸送評価:
水面から大気中に揮発しない。
土壌への暴露後、本製品は少量ずつ流出する。分解の程度によるが、多量の水により、土壌深部へと移行し得る。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: N- (ホスホノメチル) -グリシン
生分解性及び除去率の評価 (水中環境):
容易に生分解性されない (OECD基準による)

記載物質に関する情報: Imazapyr technical
生分解性及び除去率の評価 (水中環境):
容易に生分解性されない (OECD基準による)

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: N- (ホスホノメチル) -グリシン
生体蓄積性:
n-オクタノール/水の分配係数 (log Pow) より、生体への濃縮性はないと考えられる。

記載物質に関する情報: Imazapyr technical
生体蓄積性:
生物濃縮係数: < 1.0, ブルーギル (学名: Lepomis macrochirus)
生物体内に蓄積しない。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:
使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

Sea transport

IMDG

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

Air transport

IATA/ICAO

15. 適用法令

消防法: 非危険物

プロパン-1, 2-ジオール

化審法

優先評価化学物質

表示すべき危険有害性決定要素: イマザピル, Glyphosate

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

16. その他の情報

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 11. 12. 2017
製品: Ripro LG / リプロ液剤

バージョン: 2.2

(30356267/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。